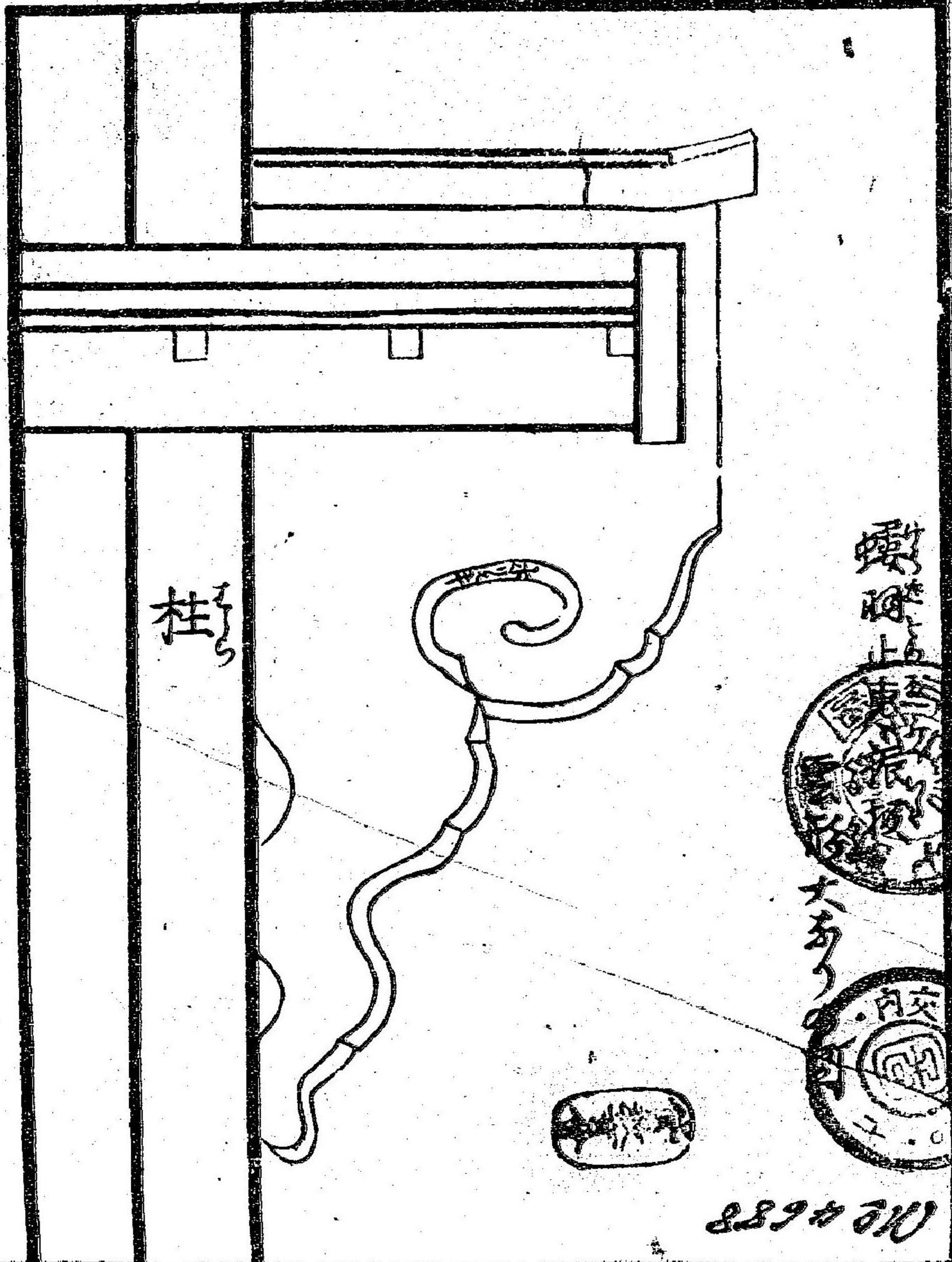


普番匠雜形

大日本教育會館			
二	六	六	六
册	四號	架	函

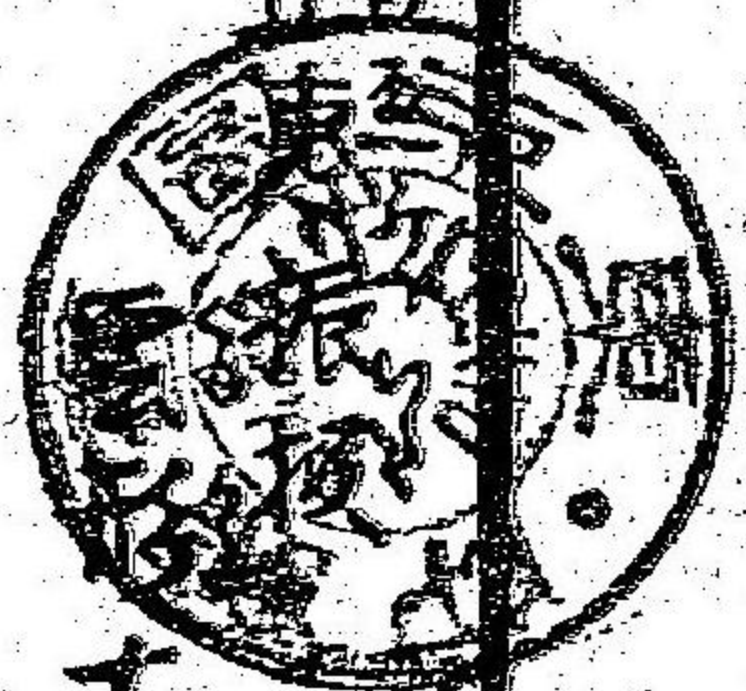
特57
528

ア

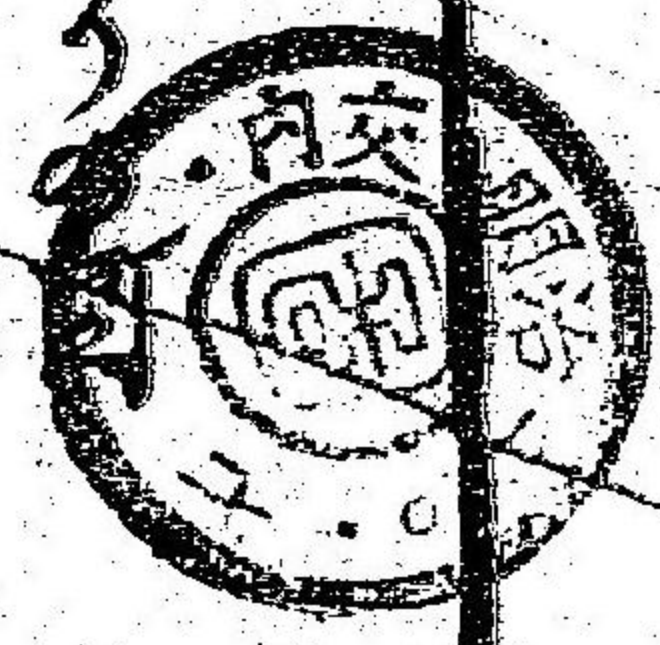


柱

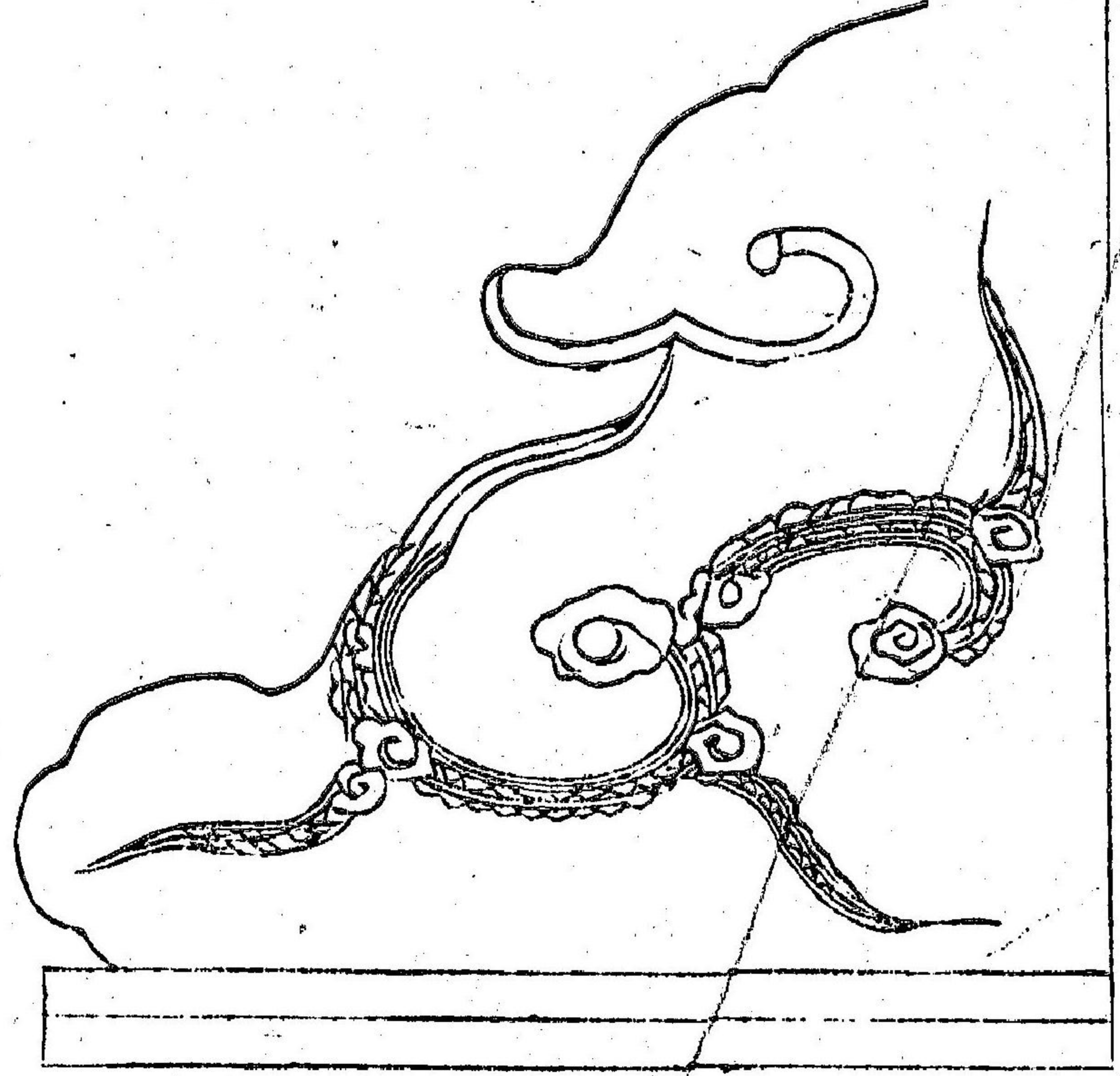
燻



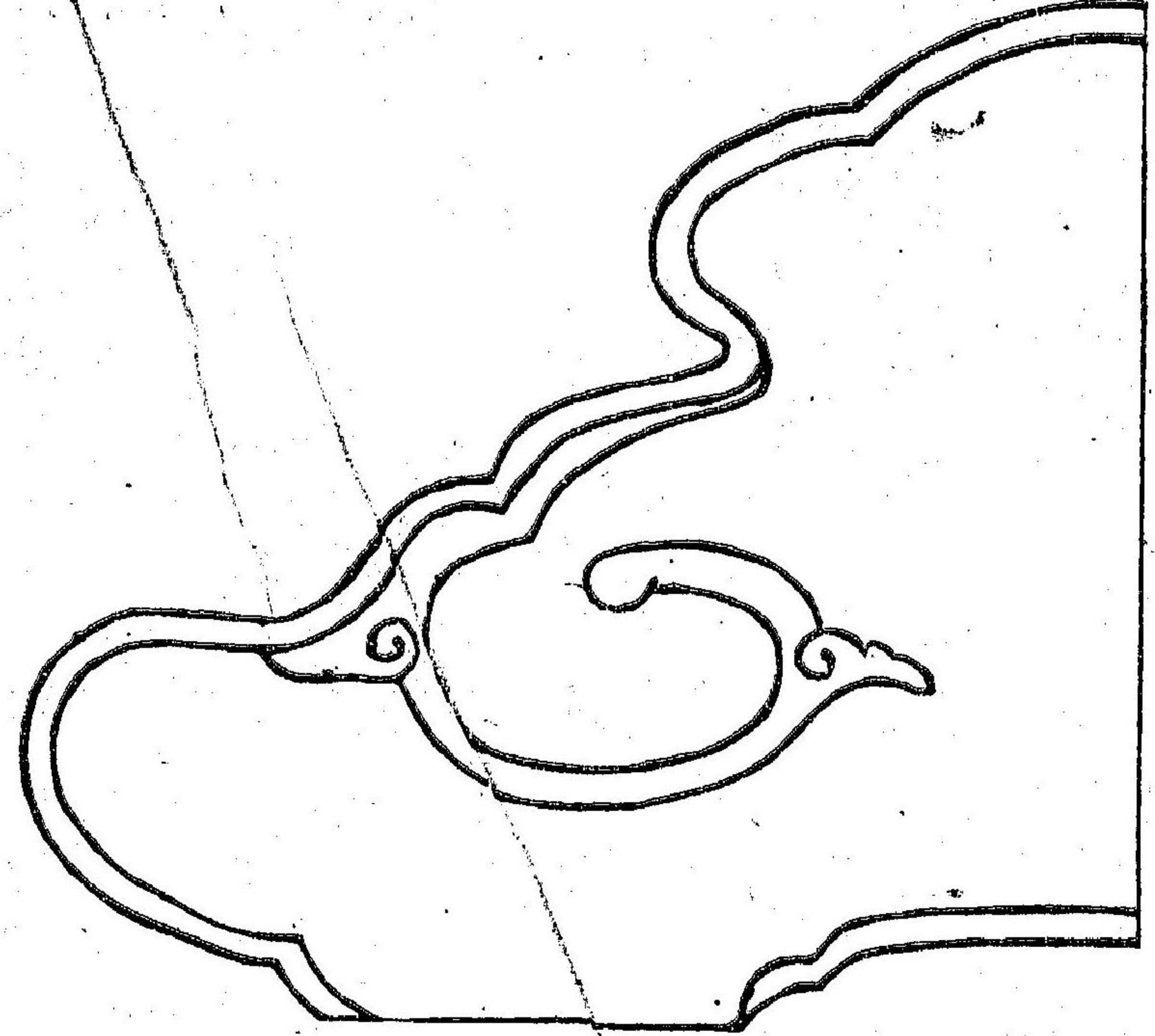
大



889#310



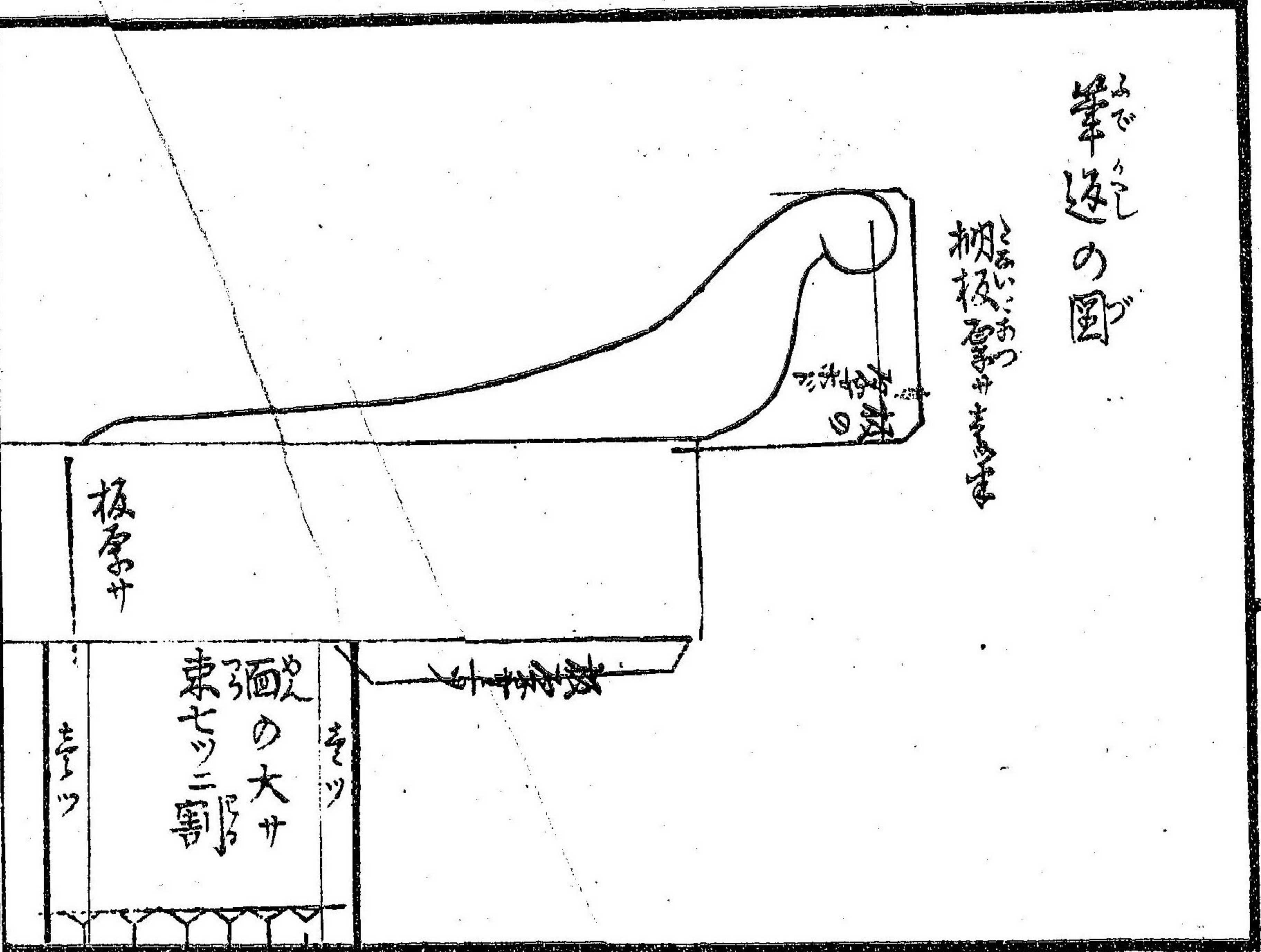
惠夫利板雲の図



堀惠板板の図

筆返の圖

棚板の事



神門之古事

一夫黒木神門ト云ハ人王第一神
 武天皇天和國宇根飛山之東南
 賀志和原ニ始テ宮ヲ造玉ノ時陽
 鳥帝ニ告テ曰ク天之大棟之木地
 之横梁ハ人之忠柱之二之息之柱
 是比門トシ爰ニ止リ柱居テ帝宮ヲ
 守護シ奉可キト云ク又神家相傳
 ニ曰往古ハ奴婢之類至賤成者ヲ
 鳥獸之此トテ名ヲ呼外門ヨク内ニ入事禁
 云鳥居名有テ鳥居下名并成可キ

黒木神門

黒木丸木小て遣
神カミ不ス建タテるあり

大井オホイ持モチ下シタ下ゲ

九ト

長下

一ト

内ウチはウチ持モチ下シタ下ゲ

大井オホイ持モチ下シタ下ゲ

柱ハシラの中ナカのノ虫ムシ

口傳
大井オホイ持モチ下シタ下ゲ

諸鳥居の本割

鳥トリ居イのノ本ホン割ワタリ

四角ヨウカクのノ柱ハシラの大オホ井イ大間オホマ拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン

是コノノノ柱ハシラのノ大オホ井イ大間オホマ拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン

拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン

大間オホマ拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン

大間オホマ拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン

の面内ウチノきキがガくクのノ柱ハシラのノ大オホ井イ大間オホマ拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン

大間オホマ拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン

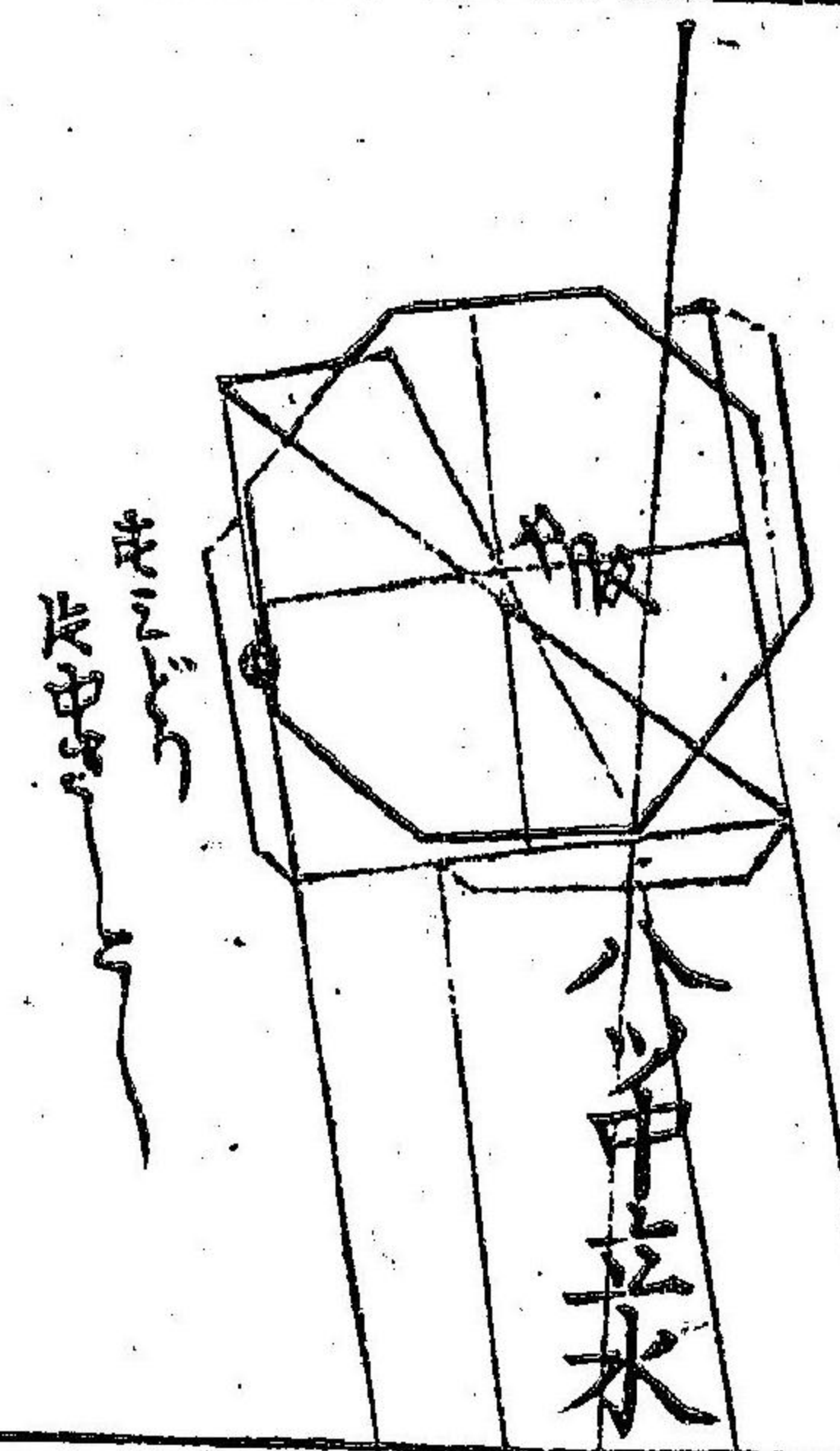
大間オホマ拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン

大間オホマ拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン拾シウ六ロク間カン

笠木墨の仕様

八角指越墨

五ツ中の墨

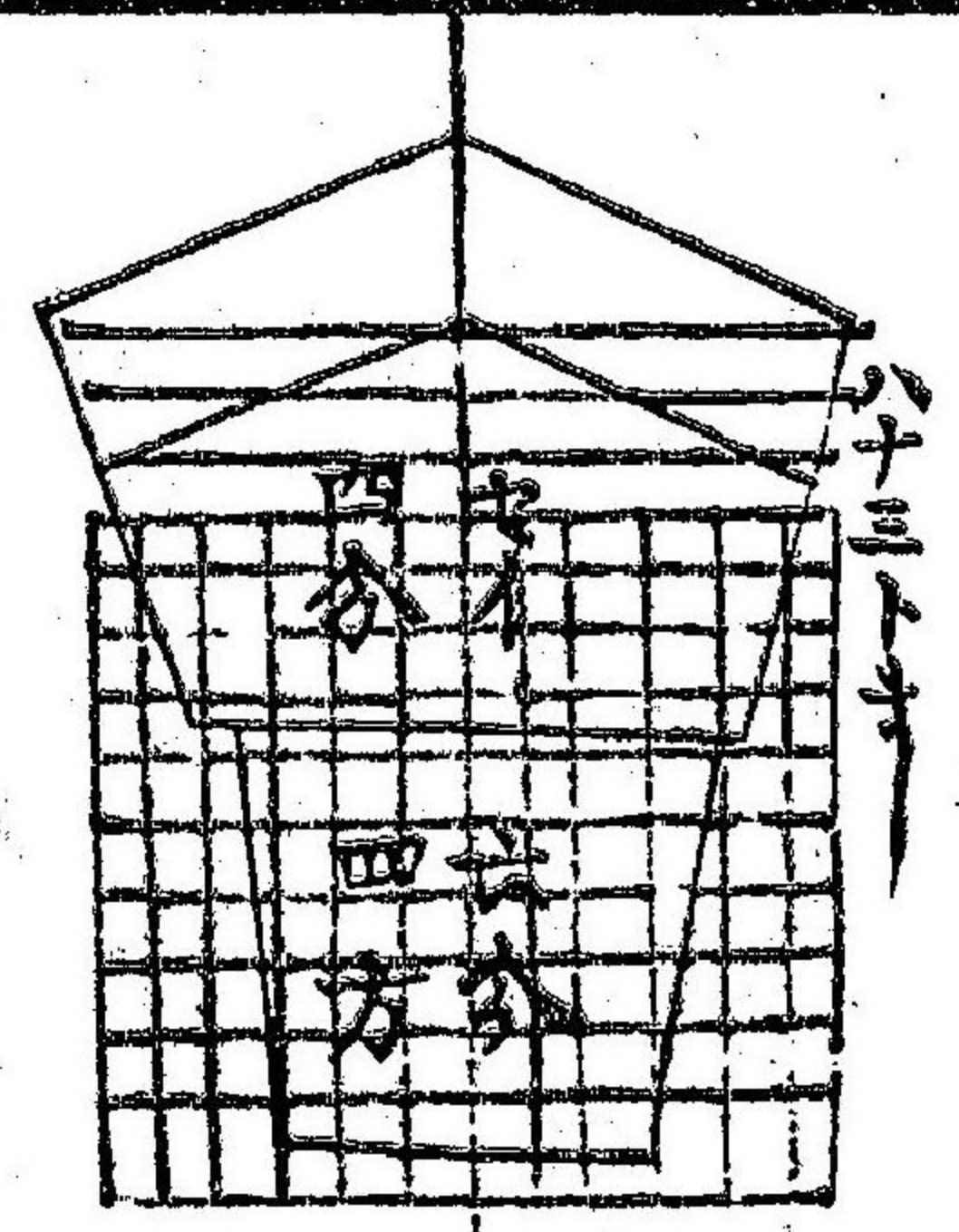


三ツ

墨
かき水
培木

井

笠木島木の形



笠木朱の真小

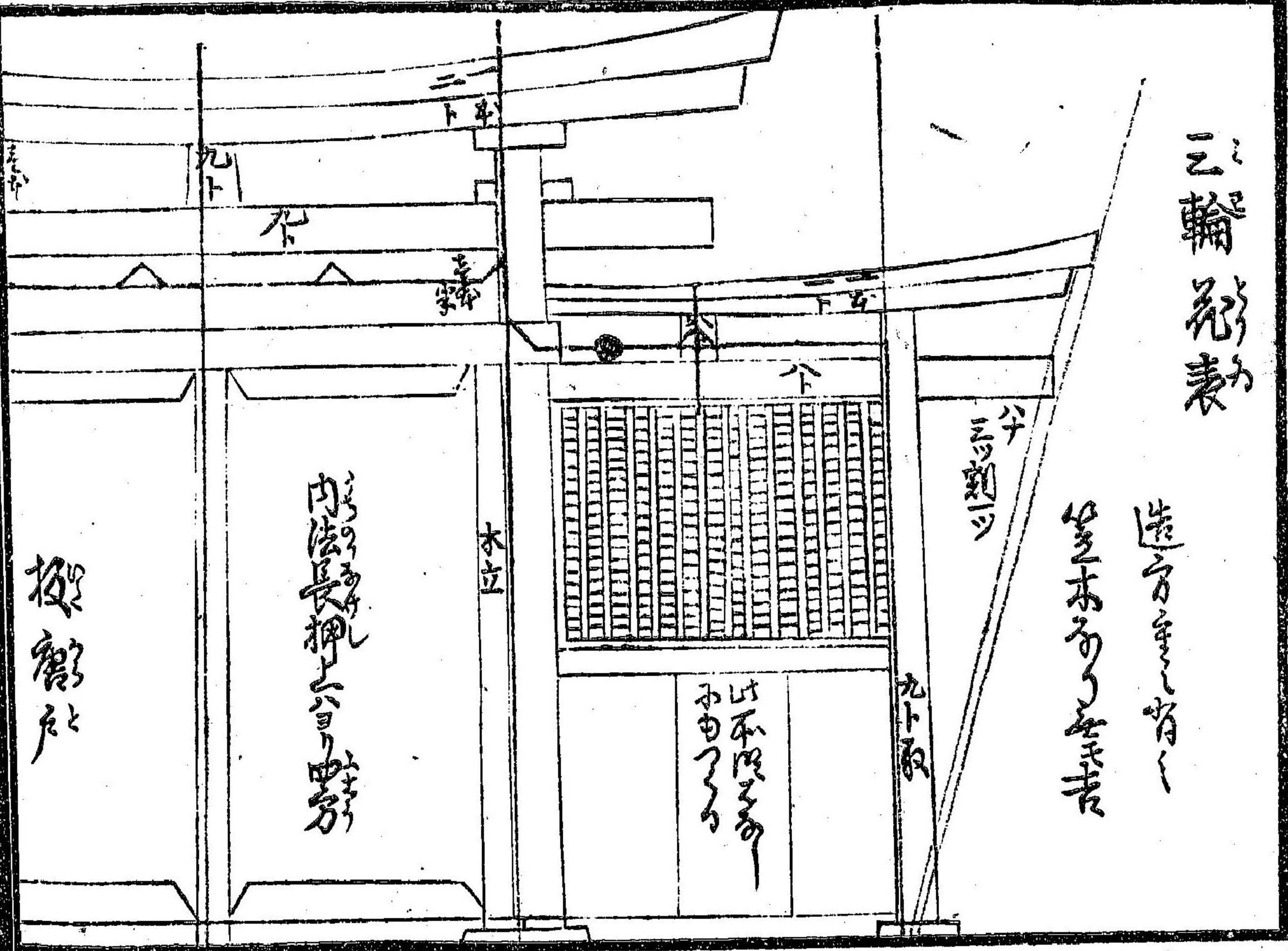
此の墨は朱の真小
 五ツ中の墨
 此の墨は朱の真小
 五ツ中の墨
 此の墨は朱の真小
 五ツ中の墨

五ツ割

井

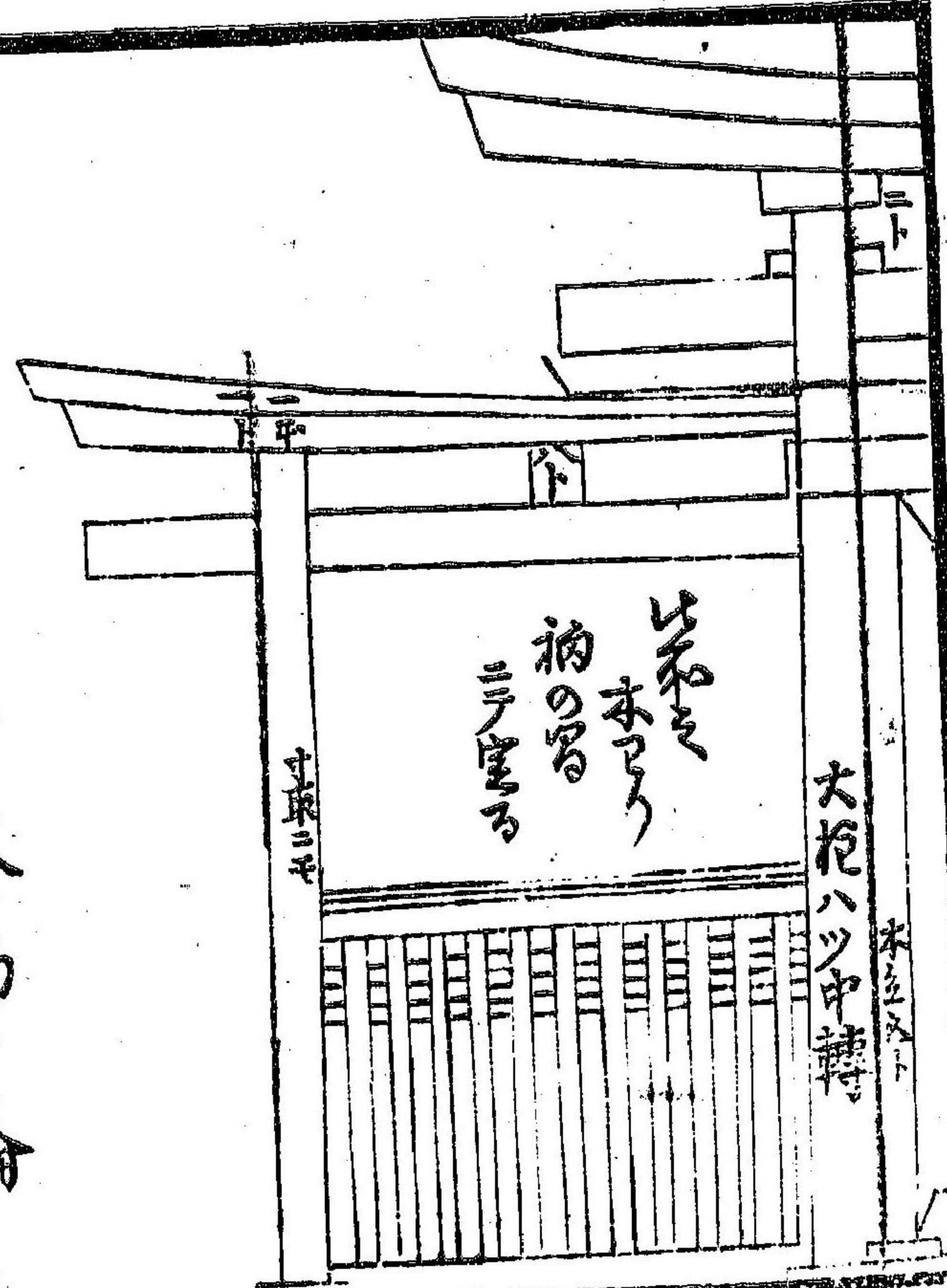
三輪花表

造方... 筆本ありて書



大抱ハツ中轉

はねまき 本より 袖の留 三三三



一はちき居ハ大和國方己貴命初と三輪 大明神の者居を三造玉と右類の文 書ハ神代ノ書

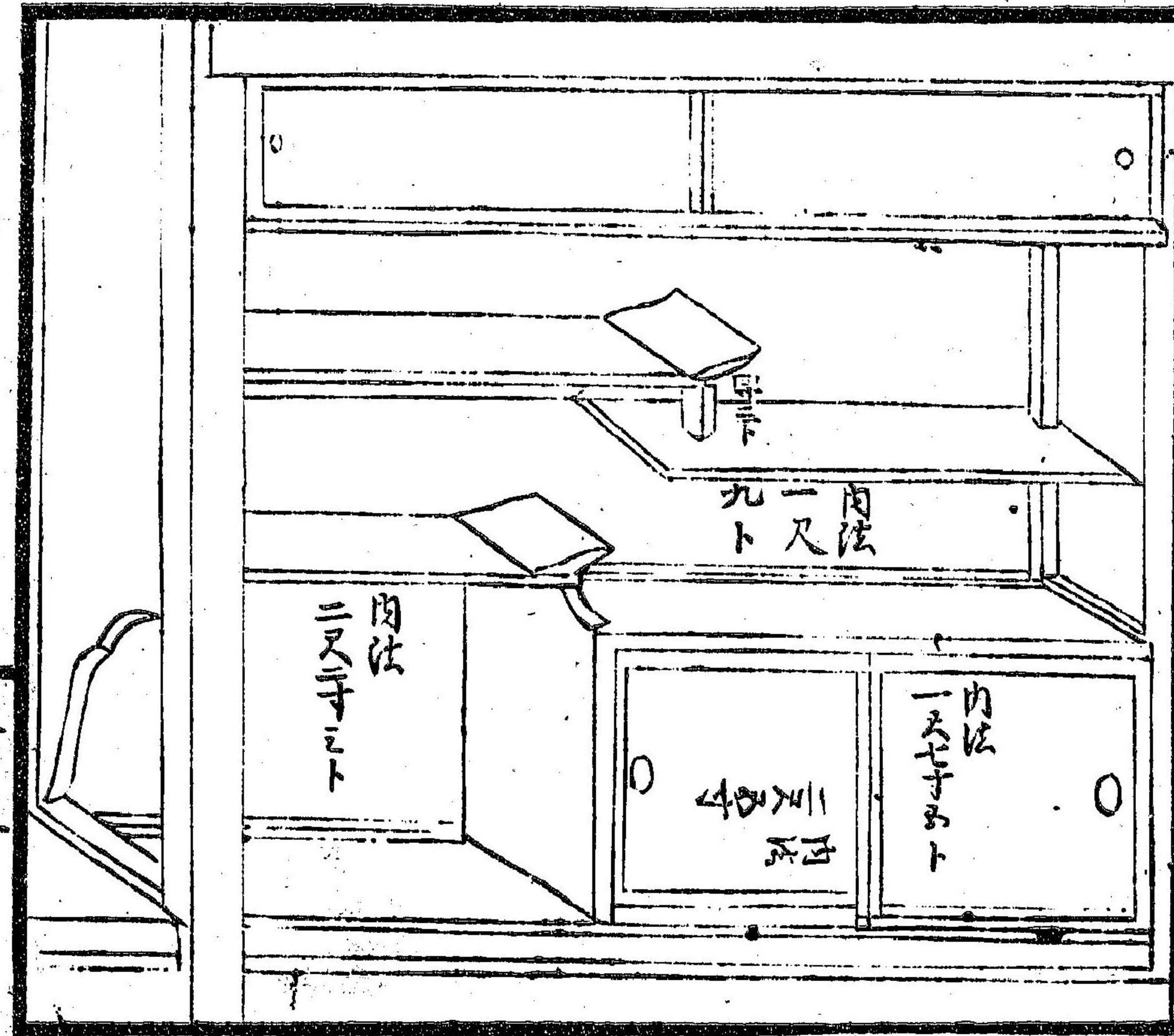
大己貴命縁ふ日

はくろまね 岩本とあいのうまがてあえ

かけさつ... 岩本とあいのうまがてあえ

故... 花表と三輪大明と拜々

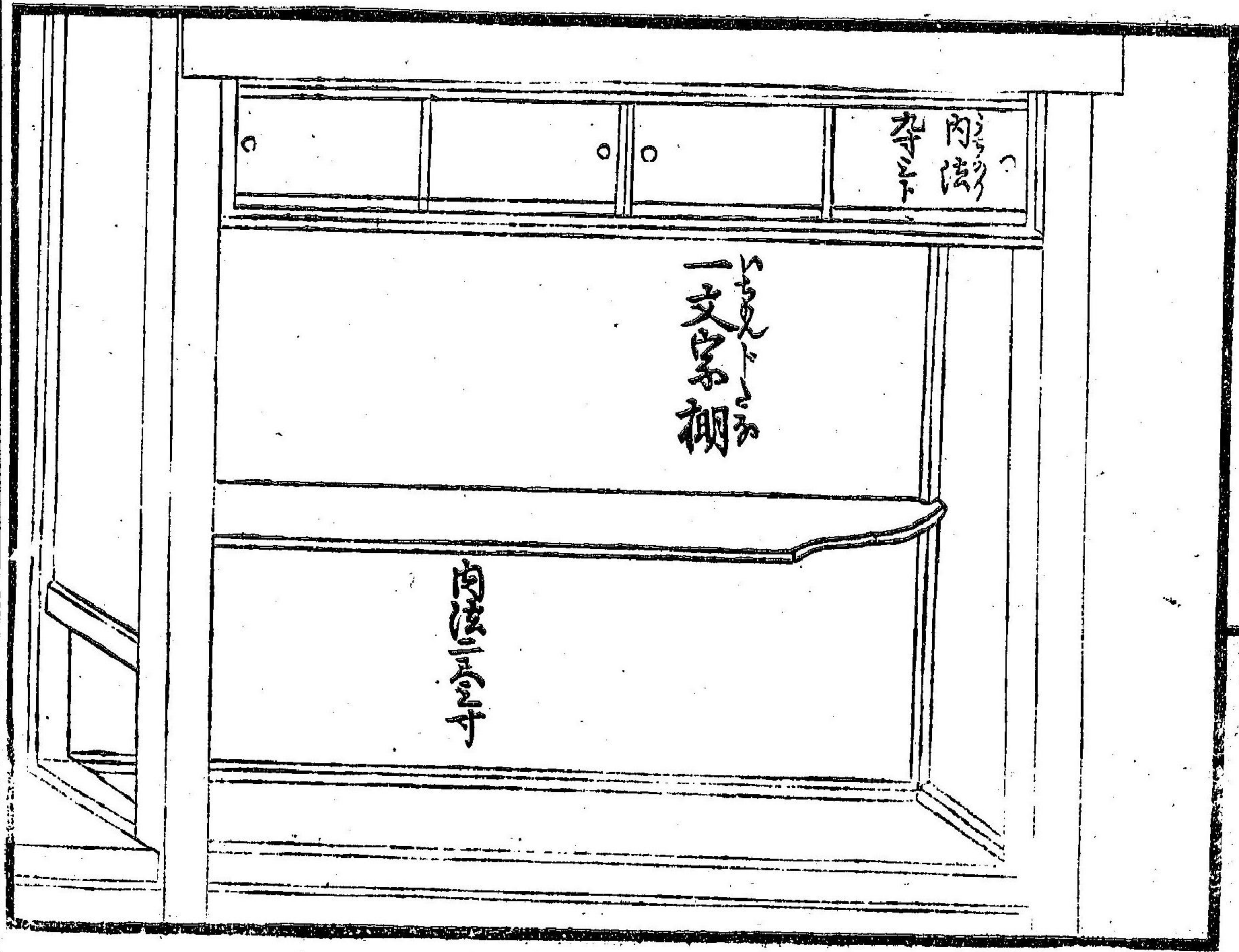
初高棚



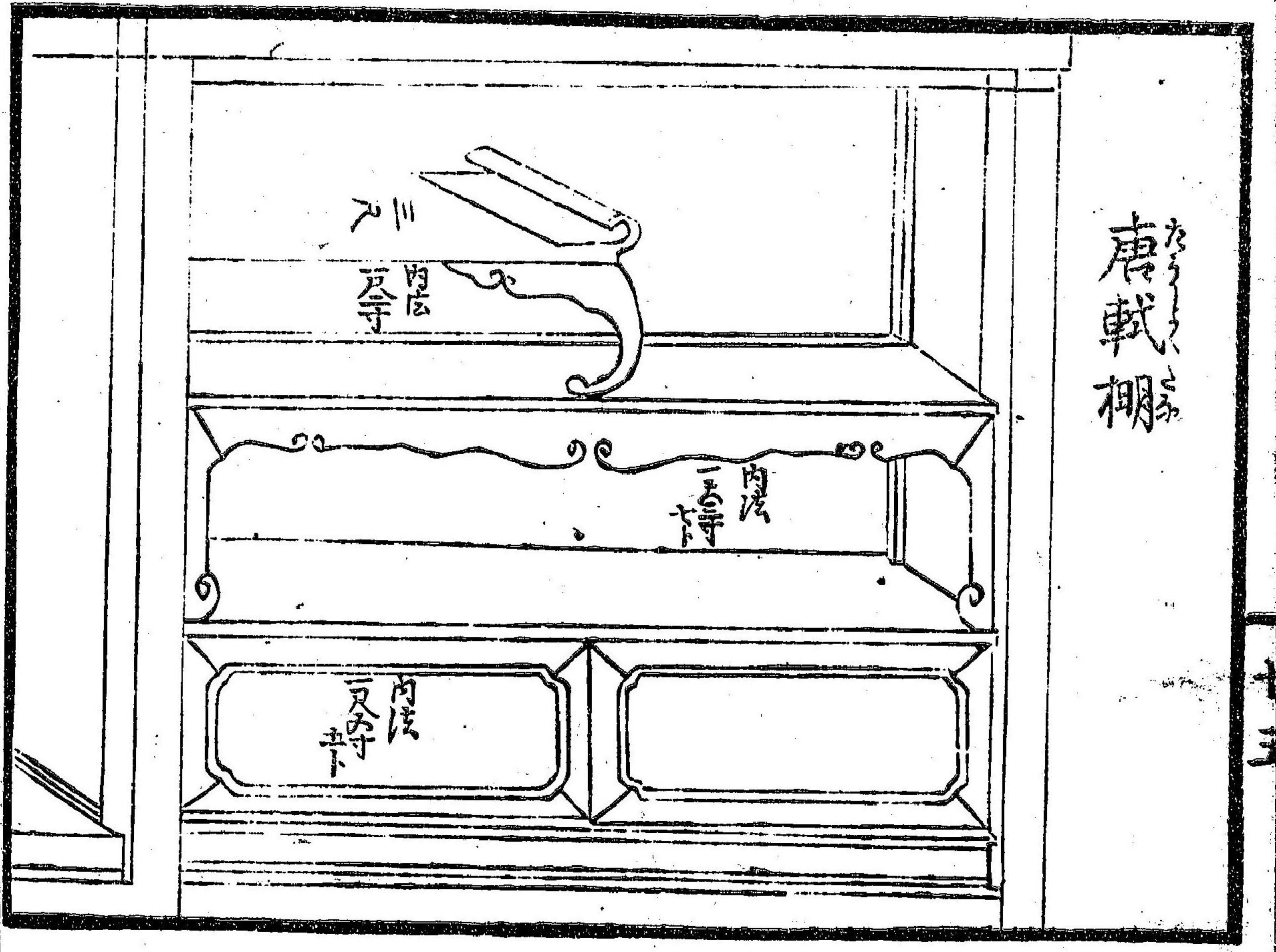
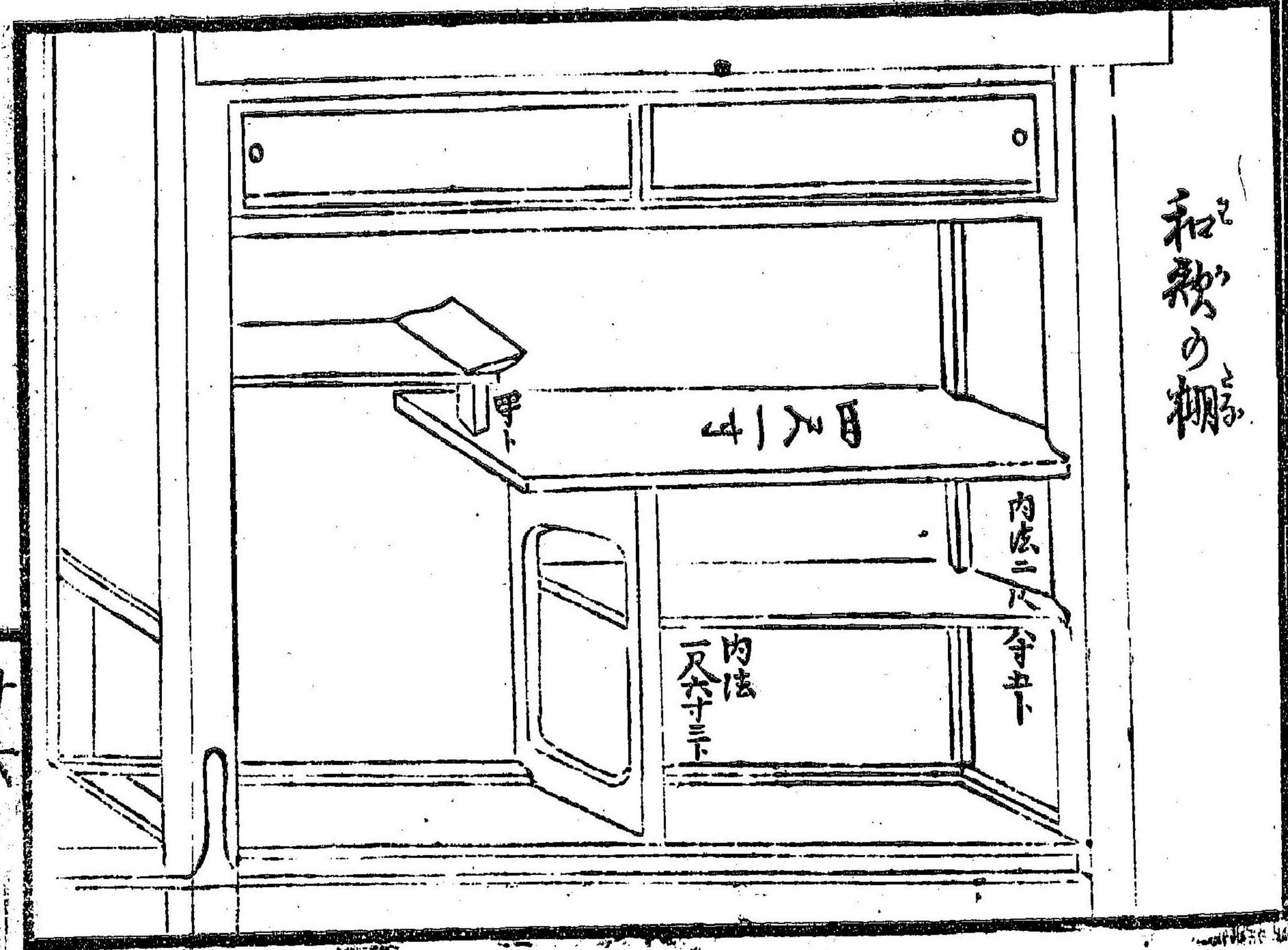
廿五

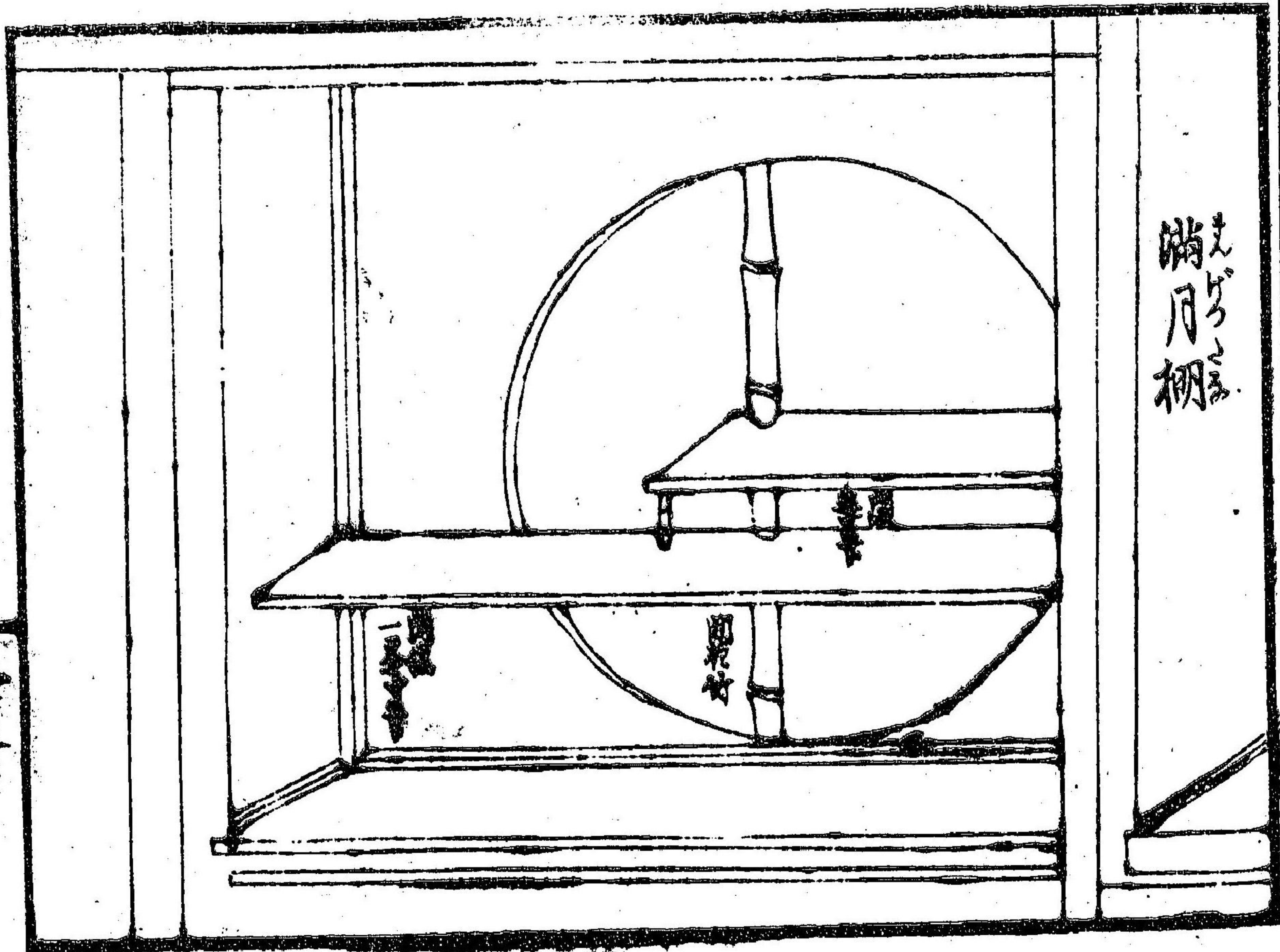
内法
外法

文章棚

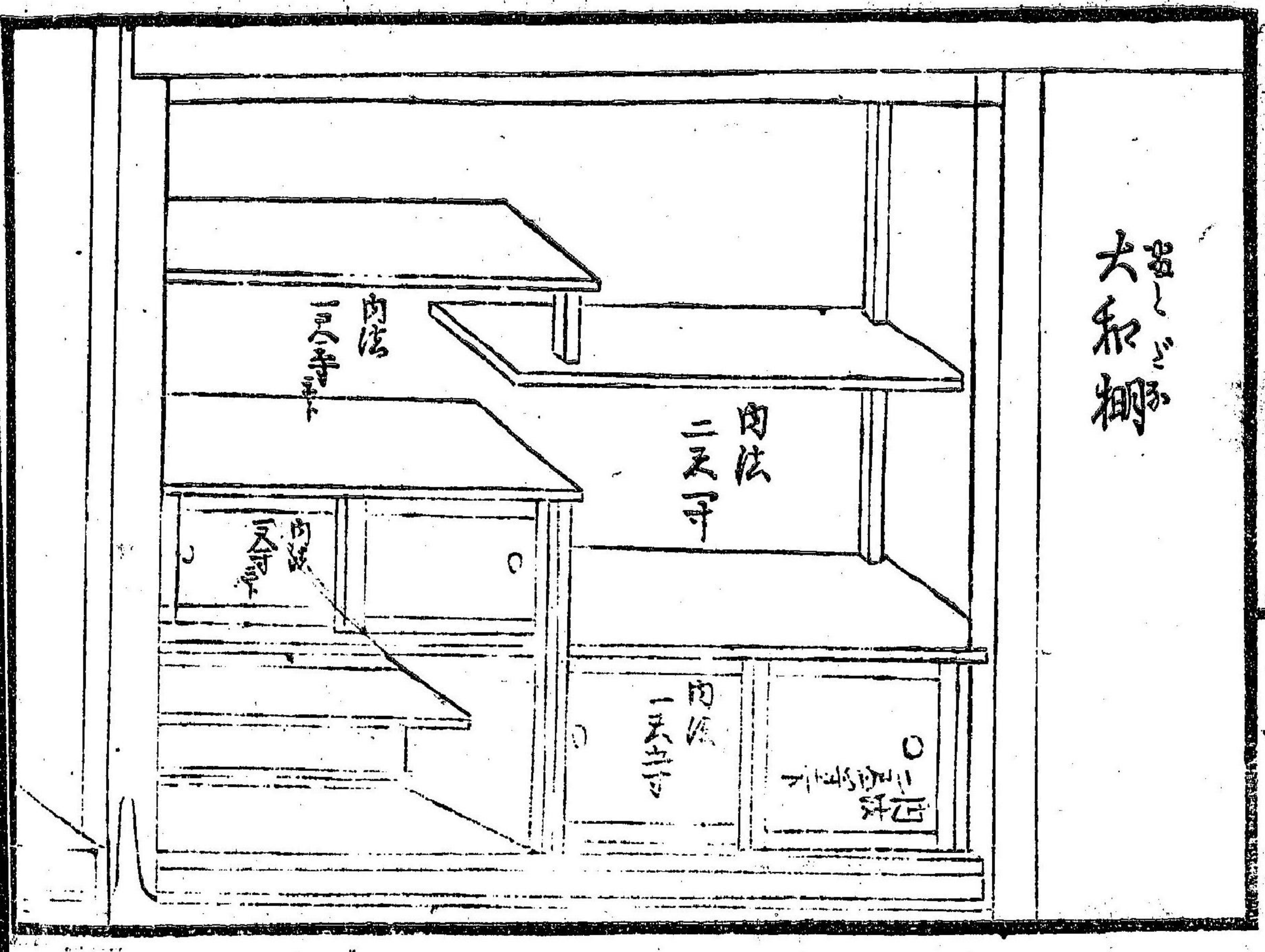


廿四

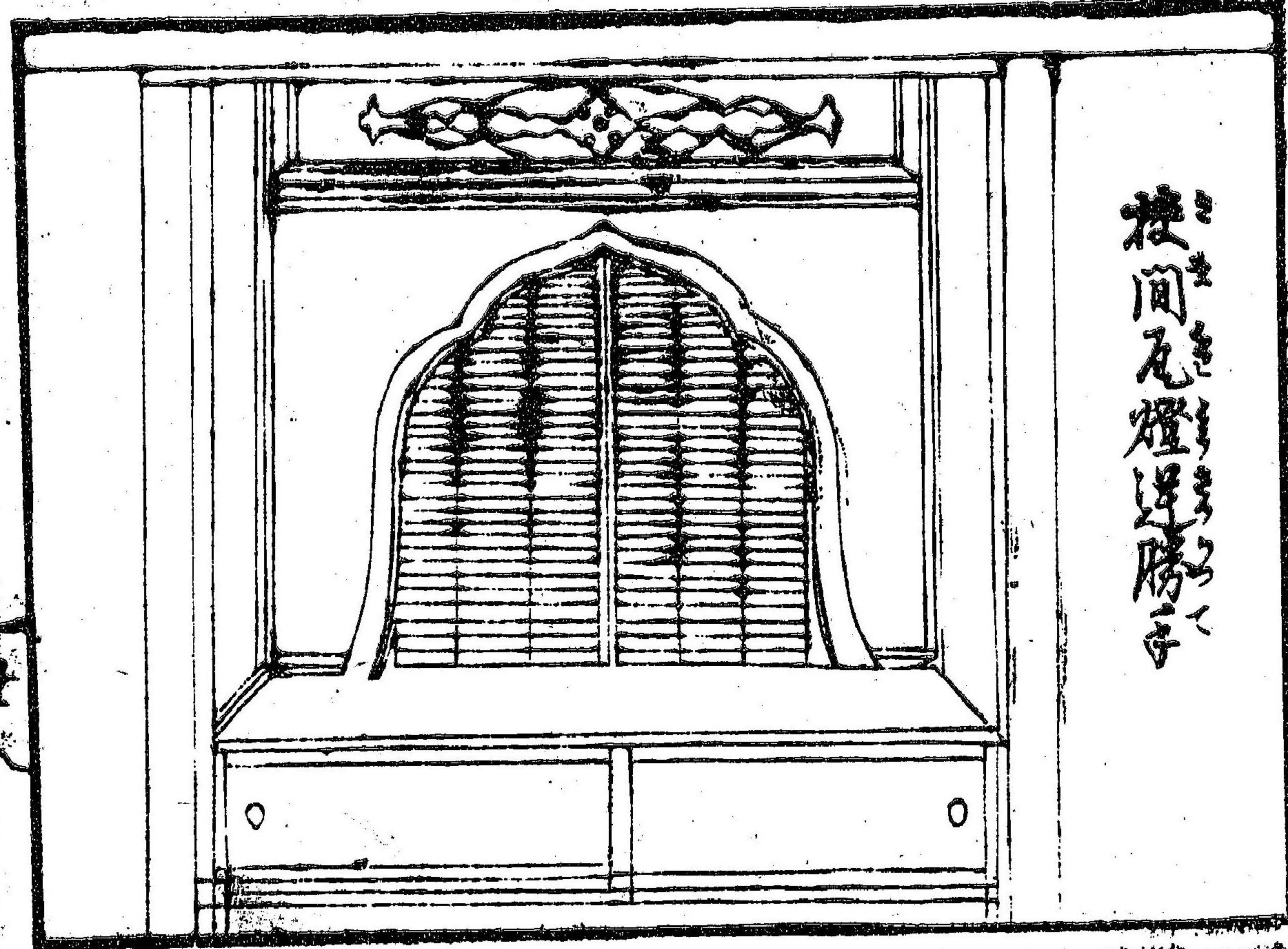




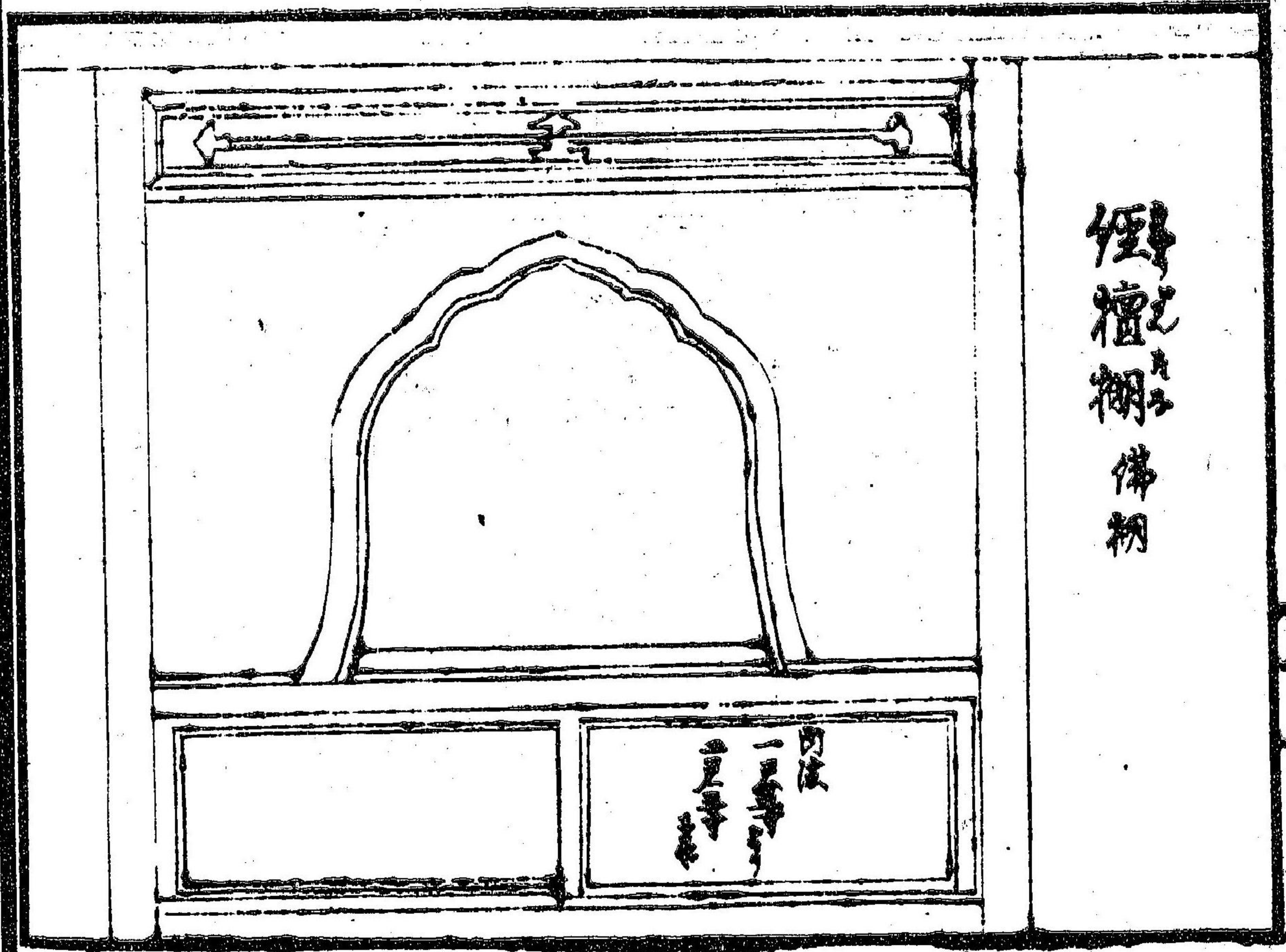
満月棚



大和棚

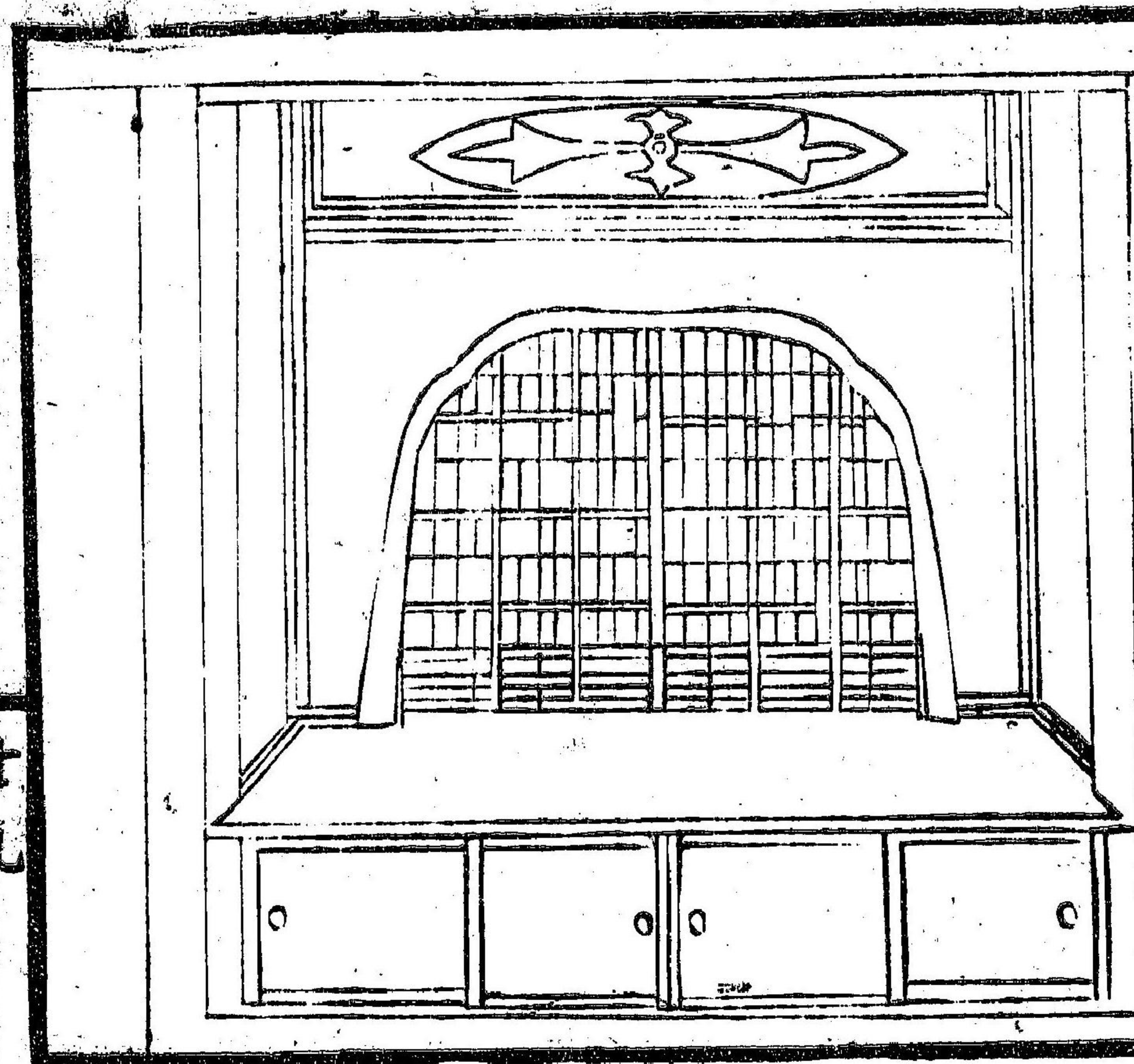


樓間瓦燈蓮勝字

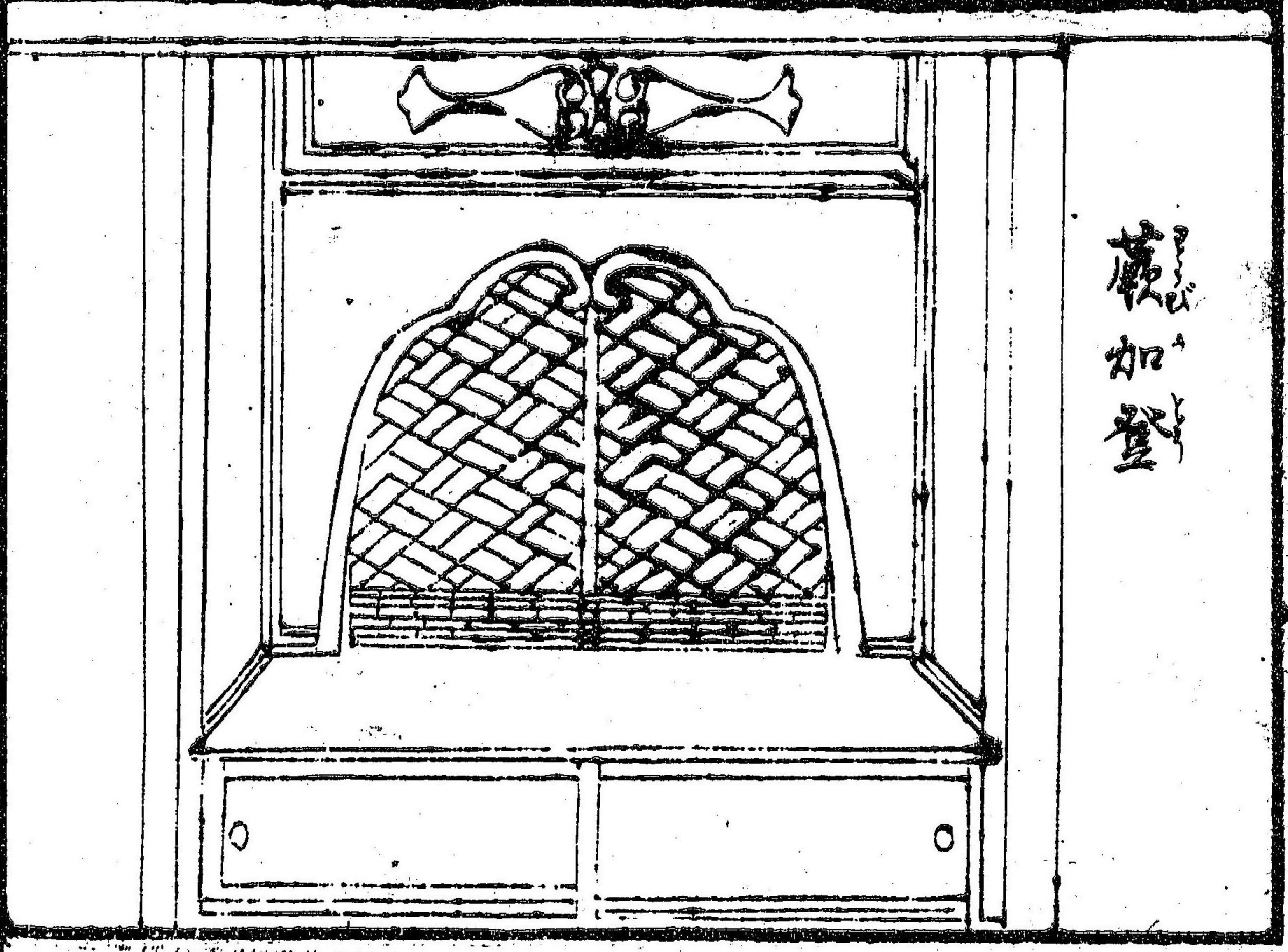


煙檀棚佛棚

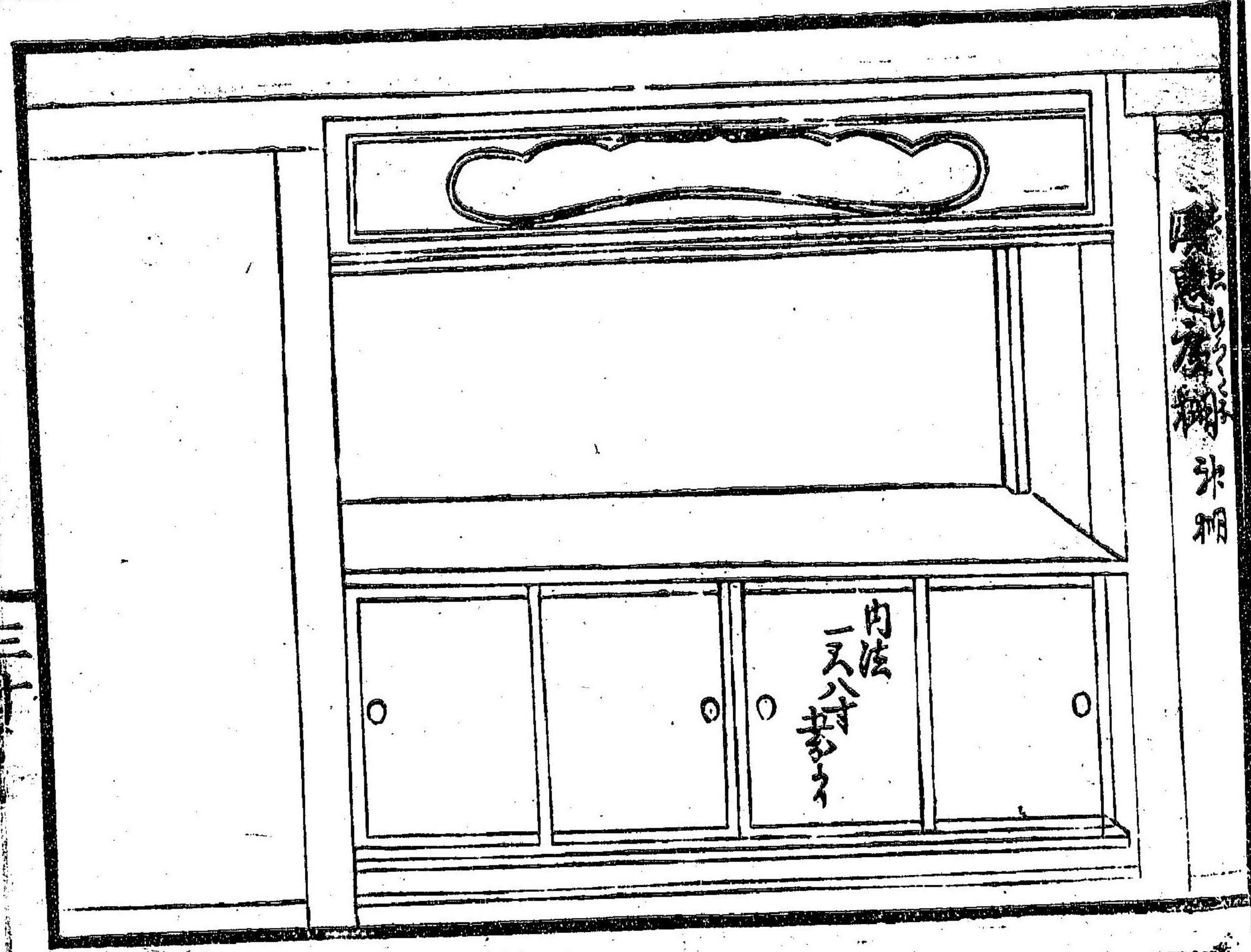
廿七



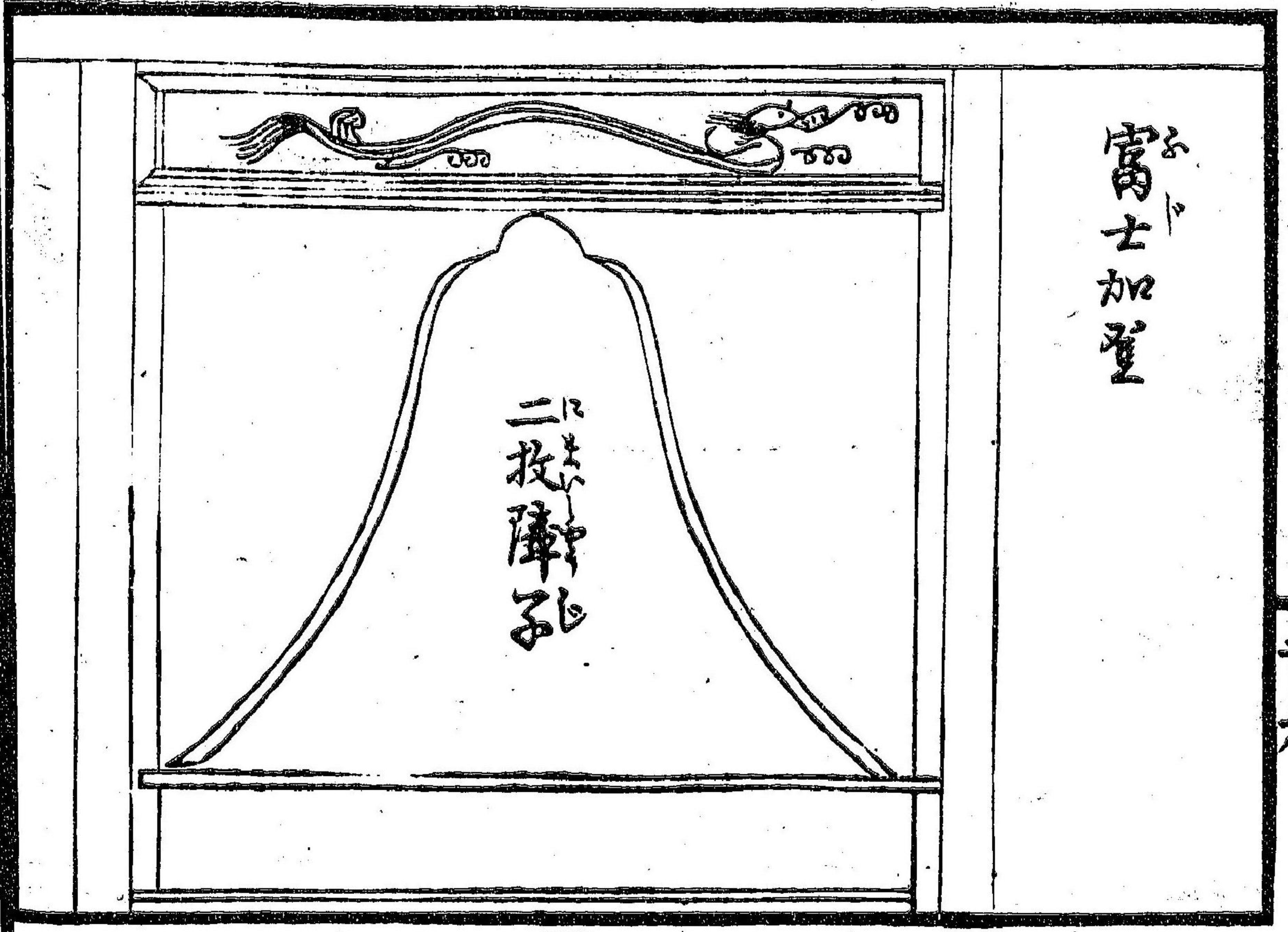
琴
柱
瓦
燈



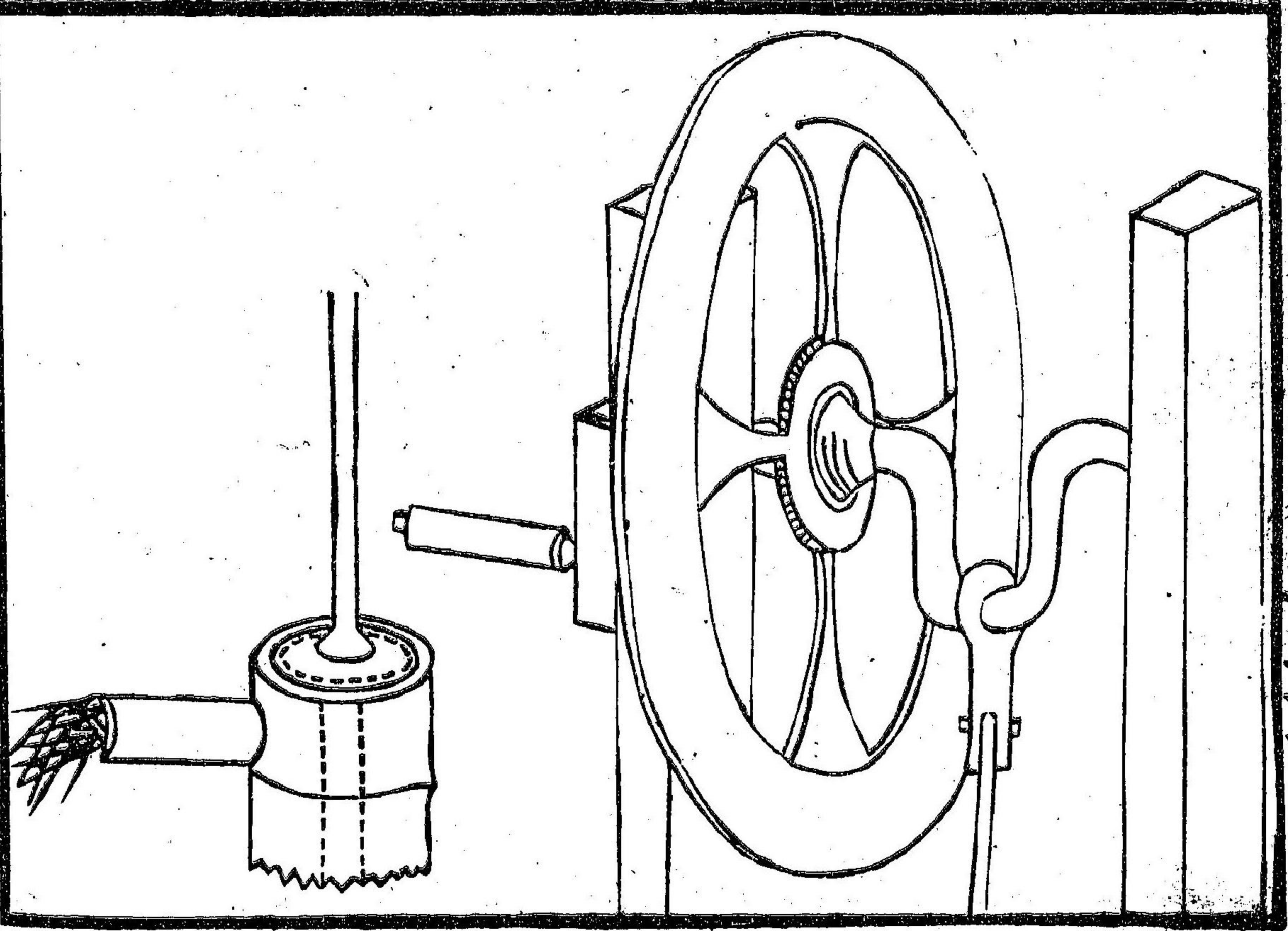
蕨
加
登



外相



廿六



明治廿年二月一日
翻刻御届
 同年七月
 出版

原版人 東京府平民
 山田藤助

出版人 東京府平民
 瀬山佐吉
浅草黒舟町十五番地

發兌 同
 大川錠吉
浅草三好町七番地

大賣捌全國各書林



